



# 取組概要：帝京科学大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）

## 1. プログラムの目的

今後、急速に進展するデジタル化社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事の場で使いこなすことができる素養を身に付けることは必須である。そのため、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を元に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようにすることを本学の学修目標とする。

## 2. 身に付けることができる能力

・「情報Ⅰ」では、データ・サイエンスの概要を理解し、データモラル、情報モラル及び情報セキュリティを理解した上でインターネットを利用した情報収集の方法やメールソフトの使い方といったインターネットリテラシーを身に付けます。更に、データ活用・表計算・プレゼンテーション、データの読み方、取扱い、説明方法について学習します。

・「情報Ⅱ」では、データサイエンスの概要を確認し、データ・AI利活用の最新動向について学習します。また、講義、実習を通じて「実社会で活躍（応用）する」スキル、すなわち、情報活用のプロセスにおいて、必要となる力（情報を分析し、整理、蓄積し、伝える力、またそのプロセスを通じて、情報を安全かつ適切に運用できる力）を身に付けます。

## 3. 授業内容・方法・修了要件（2022年度～）

配当年次	科目名	単位数	必修・選択	備考
1年前期	情報Ⅰ	1単位	必修	約50名×26クラス編成
1年後期	情報Ⅱ	1単位	必修・選択 (目標：R7年度までに全必修)	約50名×25クラス編成
1年後期	統計学	2単位	選択	
修了認定の要件	情報Ⅰ・情報Ⅱを含む2単位以上を取得すること。			

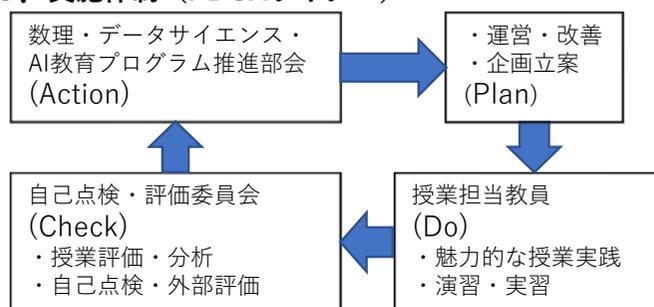
## 4. 全学履修対応（3学部：13学科：1年次入学定員1,220名）

・帝京科学大学に所属する全学部全学科の学生が履修することができるように令和4年度から、全学共通教育科目群の中にデータサイエンス科目区分を新設し、必修科目である情報Ⅰ・Ⅱのシラバス内容を全面改訂した。併せて選択科目の統計学を加え、学修内容の体系化を図った。

・履修者数の拡充目標：令和7年度を目途に、情報Ⅱの全学必修化を推進する。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	収容定員
1,059名 (実績/21%)	2,228名 (45%)	3,465名 (70%)	4,950名 (100%)	4,950名 (100%)	4,950名 (100%)

## 5. 実施体制（PDCAサイクル）



千住キャンパス本館



情報Ⅰ・Ⅱ演習・授業：MM教室



様々なデータを活用する医療系実習



## 6. データサイエンスの応用展開と多様なキャリアパス

**<健康・医療・福祉・教育、動物、自然・環境への応用>**  
本学では、データサイエンスの基礎学修スキルを更に活用・向上させるため、各学部の専門課程における実践学修・実習科目等への接続を通して、健康と命に関わる確かな専門人材の養成を強化します。（以下、設置学部・学科）

※医療科学部：看護学科、医療福祉学科、（東京）理学療法学科、作業療法学科、（東京）柔道整復学科

※生命・環境学部：アニマルサイエンス学科、生命科学科、自然環境学科

※教育人間科学部：学校教育学科、こども学科、幼児保育学科